午後2時上映　アンケートまとめ

来場者	174	アンケート数	52	回収率	30%

大変良かった	37	良かった	13	普通	1	良くなかった

【ご感想】

しみじみと主人公の心情がえがかれていたと思います。個人の物語であると共に、戦争の被害者、加害者たち、それぞれの物語です。歴史は、人間が常に繰り返します。少しも私たち人間はよくなっていないように思えることもありますが、こういう映画や本が私たち、人ひとりとりに善と平和をもらしてくれていると思います。かんしゃと共に。
長崎新聞の「読者の声？」だったか、記事内にお知らせがあり、チケットを取りました。多分それを見なければ見ることは不可能でした。Lucky。内容は何も情報がなかった私もひきこまれる感じと同世代なのか親を送った者たちからは同じ気持ちを覚えました。他の土地に住むと、その日の祈りも忘れがちですが、8/9の祈り、その前に8/6にもサイレンが鳴るので心安まる時間です。もうそれ以上に黙祷が増えない世界であって欲しいです。きょうはありがとうございました。
親の遺産、遺品の整理、残した処分、私自身実家の家仕舞い、墓仕舞いを昨年いたしました。私達の世代は処分をしながら、後世へ残すという役割りもあると感じました。お手紙の内容、被爆者達の証言も素晴らしいものでした。何よりも精霊流しや空き家まで昔の手ではなく現在、そしてこれからも続いていて課題も描かれていて、本当に大きなフラクタルとしての人類・地球での暮らし方を考える機会となる映画でした。これからもこの映画が様々な場所で上映される事、心より願います。すてきな映画をありがとうございました。
未来へとつながる平和への願い。とても感動いたしました。しずかな空間がとてもよく考えさせることのできる時間、そして悲惨な状況をはっきり映し出すのではなく、語りの中で伝えていっていることは大きかったです。とくに幼児に伝えていけたらいいですね。
私も被爆二世です。映画の中でうかがったたくさんのエピソード、手紙の中でのお互いを思いやる心を感じる中で、その一つ一つの体験の尊さを受け止めさせていただきました。被爆のみならず、戦争を体験されたすべての人、一人一人に大切な人がいて、大切な記憶があること、思い出させていただきました。ありがとうございました。
原爆の映画を見るのは初めてです。最後まで興味深く見る事ができました。私は雲仙市に生まれ両親とも原爆にはあっていません。小学校の授業では知っているけど、ほとんど無知です。勉強します。
私も21年生まれで母も語れない事もたくさんあったのではと思い、感謝の思いです。
ことばにしなくてもお手紙を通してご家族と知人（お世話になった人々）との関わりのなかで、当時の状況やご苦労などが手にとるようにわかったすてきなお手紙が残ったのですね。大切に残しておられた（捨てられなかった）お手紙が貴重な資料となりましたね。丁寧に撮影されており、ゆったりとした気持ちでゆっくり見ることができました。（急ぐことなく考えながらみることができたことは本当に良かったです。）”おくりもの”のテーマ、とてもすてきですね。お話しを伺い、ますます素敵だなと思いました。
作り手の考えであると思うけども、ナレーションがはいればもっと違う感じがあった気がします。光子さんとお手紙やりとりされた方の関係性をもっと知りたかったです。
あわただしい中で出かけて来て、最初何となくたいくつでしたが、次第に紀子の心の旅路の中に引きこまれました。おくりものとして受けとめられる心情に強く心に響きました。永井隆の”みせつり”と響き合ったのです。
長崎の普通の生活でこの様な体験が沢山あったと思います。その体験を「おくりもの」として映画を制作されたことに感謝しております。平和について考える映画です！

人の心のデリケートな部分にスポットを当てて、とても丁寧な映像でした。紀子さんの表情に何度も惹きこまれ胸が熱くなりました。
私は原爆二世で母を思い出しました。何年も前に他界しておりますが、良かったです。
一発の原子爆弾がどれだけの人々を不幸にしたかを改めて思い知らされました。今また世界がだんだんきな臭くなっているようだが、絶対に戦争は無くならないといけない。良いことは一つもないのだから。
私も学生時代に原爆の記録を読んだことを思い出しました。学生時代に受けたことの日記などにショックを受けましたが、日々忘れがちな大事な体験をやはり、この映画を見ていただきたいと思いました。ありがとうございました。
大井紀子さんを通して、見え隠れする田川光子さんの姿と思いに、私の母の姿が重なって迫ってきました。原爆の時、母は仕事で南山手にいて命びろいしましたが、祖母は今の宝永町にあった家で被爆し、3週間後に死んでいます。それを看取った母は田川光子さんと同じとは言わないまでも、ほとんど被爆体験を語ることなく27年前に帰天しました。今書いたことは「おくりもの」の感想にはほど遠いですが、母の思いをどんな形でか掘り起こしていきたいと思わせてくれた。「おくりもの」と大井紀子さん、レヴェックさん、制作にたずさわった方々に感謝します。
想像をふくらませながら見せていただきました。戦争が絶えまなく続いている今日に重なり合うことがありました。手紙は形だけでなく思いも伝えることができる、とても素晴らしい”おくりもの”だと思いました。
極めて個人的な出来事をたんたんと映像化されていて、大きな盛り上がりや感動はなかった。むしろ終活の大変さを思いしらされ自分はきちんとおかなくては！と思いました。原爆の悲惨さや戦争のむごさはあまり伝わらなかった。戦争の絶えない今だから強いメッセージが欲しかった。何でもない市井の人のくらしぶりをたんたんと追って映画にしても1つの物語になるんだなぁ～と感心した。出てくる人たちも争いもない淡々と静かな会話をかわされるのは良いなあと思いました。
私の母も大学病院で被爆したと言っていました。母は昭和63年に57歳で亡くなりました。詳しいことを聞いてなかったのが残念です。これからわかる範囲で被爆した当初の事を調べ、子や孫に何かしら伝えていけたらいいなと思っています。いい映画に出会えて良かったです。ありがとうございました。
本当に観る事ができて良かったです。私は被爆3世なので自分が今、ここに生きているのが当たり前ではないと考える機会をえる事ができました。ありがとうございました。
心に残る映画を見る事が出来て、とても良かったです。ありがとうございました。
映画をみてあらためて戦争のひさんさを感じ、次世代にも語り継がないといけないと思った。
私の祖父母や伯父伯母も原爆死や被爆者であるが、やはり沈黙に近い状態であった。生き残った人はやはり語れるほどの状況ではないのだろう。
私はS20年生まれですが、母から戦争の話は聞いた事はありませんが、今、この映画を拝見できた事を嬉しく思います。
ドキュメンタリーだけあって本当に身につまされるような気がしています。亡父が被爆者であったので、それぞれ大変なことだったと思います。平和な世界をつくるために原爆は絶対になくさなければならないと思います。カナダ在住の娘さん、他の方達に感謝です!!
私の母、祖父母も被爆者です。祖父も光子さん同様体験を語ることはありませんでした。母は20年前に脳出血を発症し、原爆を語る事はもうありません。でも91歳の今も生きてくれています。私も近いいつか紀子さんのように、母からの「おくりもの」を受け取る日がくるのかと思いながら見させていただきました。ありがとうございました。

原爆に関係する身内はいませんが、聞くだけでもつらいです。まして被爆体験者が話したくない気持ちはよくわかります。その中でも体験を話してくださっている方々に感謝します。
もっとたくさんの方々に鑑賞いただく機会を作ってくださいますよう、宜しくお願いいたします。ひさんな場面を見ずとも そのひさんさは充分伝わると思います。特に子ども達、若い方々に!!
心打つドキュメンタリーでした。
淡々とした流れ、描写がゆっくりと語りかけてきました。ドキュメンタリーであることに最後に気がつきました。いろんな方に見てもらいたいです。映画の後のトークセッションも単なる映画にならなくて理解が深まりよかったと思います。
ドキュメンタリーというのが良かった。あえて過去の映像を使わなかったという表現方法、意図に納得しました。
私自身もおととし秋に母を亡くし、同じように遺品整理➡実家じまいをした経験から感情移入しましたが、そのうちお母様宛のお手紙、被爆された方々の言葉、そして長崎の風景にどんどん心が引き込まれていきました。コロナ下の中で監督のレベックさんが日本語も学んで、そのように小さな積み重ねをして製作されたということにも心を打たれました。静かな映像美も素晴らしかったです。ぜひ多くの方に観てほしいです。
私の母も被爆についてほとんど語りませんでした。言葉にならない深い悲しみがあったのだと思います。風化させないためにもこういう映画が必要だと思います。
「おくりもの」が日本中、世界中へと贈られていくことを心から願っております。本当にありがとうございました。
ナレーションもなく説明的な台詞もほぼ無いことで紀子さんのお母様をはじめ当時長崎に住んでいて原爆を受けた方々の等身大の姿がとてもリアルに感じられました。もちろん想像することしかできませんが、その想像力を働かせることが、これから先の世代にも必要なことではないかと思います。そのきっかけを下さるものとしてお母様の受け取られた手紙、そしてその相手の方に書き送られたお母様の手紙は本当に貴重な財産だと思います。その貴重な財産をこのような形で共有して頂けたことに感謝申し上げます。
日本人の視点とはちがい、少しずつ引き込まれ戦争の静かな苦しさ等が心に響きました。
被爆3世と言われますが、本当は公にしたくない気持ち、語り継がなければならない気持ちが重なり、涙が出ました。派手さのないとても心に残る素晴らしい作品に心が核廃絶への思いを強くしました。
貴重な上映会に参加することができてよかったです。猛暑の外と対照的に快適な室内でうたた寝してしまい、申し訳ありませんでした。沈黙する理由はいろいろあると思いますが、悲しい出来事であればあるほど記録や記憶に残していく事の大切さを感じました。遺品の整理のシーンや精霊船のシーンでは形あるものいつかは壊れたり壊したり「無」になっていくこと。自分の日々や父や母の事を思い浮かびました。いろいろな気付きの機会をありがとうございました。
語りたくても語れなかった方達がたくさんいた中で、こうして映像として見せて頂いて考える機会を頂き、感謝いたします。私も被爆二世、両親の話をもっと聞いておけばよかったという思いがあります。
原爆で生き残った人達が、どの様なその後の人生を送られたのか、その子がどの様にそれを感じたのかを知る機会を与えてもらって良かった。
原爆の悲惨な映像等が一切無いのに沈黙のメッセージがこんなに心に刺さるとは思っていませんでした。沈黙の「おくりもの」。これからも大切に心に持って生きていきます。ありがとうございました。

被爆二世として大井紀子さんの心情がよく分かります。蚊焼の大井先生については生前のすばらしさを聞いていました。親近感を持ちました。対馬の「ワダシマ」さんについてもっと知りたくなりました。（対馬長崎人会員として）
祖父母を原爆で失ったので、私にとってもこの映画はすばらしいおくりものでした。
見終わって話しをいろいろ聞いてやっと内容が分かりました。スタートしてからは人間関係とか手紙の存在とかがはっきりせず、頭の中がゴチャゴチャしました。もう一度ゆっくり見てみたい。
映像と音楽が美しく、語りをつむいでいて、遠い記憶が表現されている。とても美しい映画でした。ぜひ長崎の過去について世界の人に知ってもらいたいと思います。
平時の暮らしの中で人生の幕引きができること、亡き人の思い出を辿る遺品を整理できること、世代を越えてファミリーヒストリーを語れること、全てが当たり前でなく、有難いことだと痛感。世界平和と希求と戦争反対と切望!!
ちょうど私も昨年母を亡くし、遺品整理をしています。私も被爆二世です。いろいろ重なると思いながら、見させていただきました。いろいろと考えさせられる映画でした。ありがとうございました。

【その他何でも】

映画に直接関係ないのですが、資料館内の最後のコーナーに昔、核実験のビデオ流れていたのですが、ここ何年も見なくなりました。なぜでしょうか？説得力のあるビデオだったのに残念です。
7/19(日)長崎の聖母の上映会、次いで昨日の国際平和シンポジウム、本日はおくりもので再び原爆資料館に訪れています。長崎へは昨年から住んでおり、NY生まれ、東京育ちの私にはTVで夏にニュースで見て知っている程度。又、戦争について祖父母や両親の体験、学童疎開の話など同じ時期、異なる場所でのそれぞれの異なる体験があると知っていましたが、体験をしていない私には戦争について知りたがる事、体験者にこちらから聞く事はタブーだとずっと思ってました。昨日のシンポジウムでは体験者から聞いた事をどう伝え残すか、といった新しい世代だからこそ、出来る事、そして平和に関して語りやすい環境が長崎に在ると肌で感じております。昨年までNYで20年以上暮らし、ホロコーストの話も直接の体験者ではないですが、祖父母又は親が体験者だという方々のお話を伺って参りました。しかしそれらは個別、家庭内での環境の話であり、他者と話す機会はごく一部の人だけであるとも知りました。思い出したくない、話したくない、亡くなった方々を思い、沈黙を通す方にも存在しています。この長崎と平和という事に改めて考える機会を与えて頂けたこと心より感謝いたします。
とても良い作品で良かったです(6年)。 とても良い作品でいいたいけんができました(4年)。小学生より
原爆に関する映画など、もっともっと知りたいと思います。
私も戦争体験をした父に思いを聞けばよかったと思っています。
レヴェックさんの思い、大井紀子さんの思いがこのドキュメンタリーの中によく表現されていると思います。ご招待いただき感謝しています。ありがとうございました。
駐車場から来たら、ホールの案内が分かりづらかった。館で尋ねて分かった。座席の横幅が狭くて隣の人と肘があたり、落ちついて鑑賞できませんでした。前の席二人の方がスマフォを広げてメールを見たり、送ったりしておられ、チラついて映画に集中できなかった。
紀子さん、とても魅力的でした。りんとしたたたずまいが素敵でした。
今後の活躍を期待します。
若い世代の方々にもみてもらいたいです。修学旅行生などを対象とできないでしょうか。
このような機会を市民にも開いてくださり、ありがとうございました。
現在中学生と高校生の甥っ子たちにも見てもらいたいので、ぜひ配信サービスなどでも公開して頂きたいです。
多くの国で長崎の原爆をアピールしてください。そして広島と長崎に原爆が2つ投下されたことを伝えて考えてくれるキッカケを作っていただければと思います。ありがとうございました。
あの実家、売れたのでしょうか？

【お住まい】

市内	44	市外	9	県外	1	福岡	

【年齢】

10代		20代		30代		40代	2
50代	4	60代	16	70代	23	80代以上	9

【性別】

男性	10	女性	43	その他